

生徒から見た「基礎情報学」

ミニットペーパー記述式回答例

基礎情報学研究会・高校教員チーム 京都市立西京高等学校・藤岡健史
 青森県立黒石高等学校定時制・下村誠
 埼玉県立大宮武蔵野高等学校・中島聡

1.はじめに

本資料は、ポスターセッション P16『生徒から見た「基礎情報学」』における配布資料です。発表の主旨や方法などにつきましては、ポスター資料を参照してください。

2.ミニットペーパー記述式の質問項目

	授業の重要な点、印象に残った点について 「この授業内容で重要だと思った点や印象に残った点はどこですか。できるだけ具体的に書いてください。」
2	授業の疑問点や質問について 「この授業内容で疑問に思った点(よく理解できなかった点)や質問は何ですか。できるだけ具体的に書いてください。」
3	復習や発展して勉強したい点について 「この授業内容に関係することで、今後自ら学習したい事柄(復習や発展して勉強したいこと)は何ですか。」
4	授業の感想 「この授業に関して、教員に伝えたいこと、感想、要望などがあれば自由に記入してください。」

※コメントの最後にある括弧内の数値は、「授業の理解度」に対する回答値です。

京都市立西京高等学校

	「情報とは」
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報」は普遍的、客観的なものではなく、生物個別の主観的な存在だということ。(1) ・情報のとらえ方は個人によって、生物によって異なる。普遍的、客観的ではない。知識や経験をもとに補っている。(1) ・情報というのは、1人1人が感じる主観的なものだということが印象に残った。(1) ・情報の受け取り方は人それぞれ違うということが大切だと思った。これが念頭にあるかないかで無用のトラブルは減るということもわかった。(1) ・情報は、それ自体はただ1つのものだけど、受け取り手によって偏見がみられるのだと分かった。「脳で感じている」というのが印象的だった。感覚も全ては感覚器官そのものではなく結局脳で認識しているのだと思うと、今ある現実に対して疑心暗鬼になりそうだ。(1)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報は客観的にあってそれを受けとる個人が主観的にみるから、主観的にあるように見えるだけではないかと思った。(2) ・どこからどこまでを「情報」と呼ぶのか、そもそも説明なんかできるのだろうか…。(1) ・情報を相手とうまく共有するためにはどうしたら良いのかと思った。(1) ・情報は主観的なものとなっていたが、誰もが目で見たり、耳で聞いたりするものはどうなのか。(1)

3	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの観点のみから情報を見るのではなく、様々な観点から見ることを意識したい。(2) ・今回やった実験はおもしろいし、もっと調べてみたいと思った。(1) ・今一度情報を見直してみたい。情報とは何だろうか。(1) ・日本人という、文化や思想が似ている人でさえそのことからうけとるものが違うので、世界規模だともっとちがうと思った。この点についてもう少し知りたい。(2)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・最近では情報化が進んでおり、個人情報などを自分で守らなければならないので気を付けようと思った。盲点のやつや地図のやつはおもしろかったのもっとやってほしい。(2) ・やっぱり日本語は難しいと思いました。(1) ・日本地図が逆さになっているだけなのに不思議な感じがした。(1) ・みんなで話し合い、討論するような形態がおもしろいと思った。(1)

「メディアリテラシー」	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・相手(情報発信者)の意図を理解すること、一つの情報について、多角的に見ることが特に重要だと感じられた。又、私は良く、人の言ったことを鵜呑みにすることが多いので(今日の記事もそうだったので)、特にその点については注意していきたいと思った。(2) ・情報を扱う中で、その情報がどれだけ信用できるのか、ということを考えていかなければならないということが分かった。メディアリテラシーというのは、中学校の公民の授業でやっていて、知っているつもりでいたけれど、それを見極める多くの視点を養っていくことが大切なのだと思います。また、ある新聞記事に対する見方でも人により本当に様々で、聞いていて、興味深かった。多角的に見るための視点をしっかりと覚えておきたい。(1) ・重要だと思ったことは、相関関係と因果関係の違いです。関係しているといっても、互いの影響の及び方が違えば、全体的に物事を正確に捉えられなくとも思いました。TVと寿命のグラフは一度見たことがあるので、親近感を持って見れました。TVが普及するくらい技術が高まって、それに伴って医療が発達し、寿命が延びたというならまだしも、いきなりTVと寿命の話を持ち込まれても明確な答えにはならないと感じました。(2)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ情報でも人によって解釈が違ってくる恐れがあり、結果として人によって情報の意味が細かく変わってしまうのではないかとこの点。(1) ・相関関係と因果関係の違いがあまり理解できなかった。(1) ・エイプリルフールのジョークがネットのメディアとはいえニュースに乗っている事実について。(1) ・疑問に思った点は、NHKの世論調査で毎回思うんですが、母集団100人で、電話での回答って、かなり偏ってませんか？平日で電話に出られる人って限られますよね？(2)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・一度新聞をよんでその情報が正しいか、意見に偏りがいないかなど見極める練習をしてみたい。(1) ・家で新聞やニュースを見るときも、視点を変えてみて指摘できるところを見つけてみる。(1) ・新聞などで、どのくらい一次情報と二次情報が混ざっているのかということ。(1)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の最後に落ちを持ってきたところにとっても驚き、感動しました。(1) ・メディアリテラシーは大事だと思った。エイプリルフールのニュースは完全に騙された。(1) ・面白い授業でした。私たちの身近なところにかかわっているので、もっと調べてみたいと思います。(2)

青森県立黒石高等学校

「知覚と情報、そして意味」	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚(盲点)の部分は分かりやすかった。(1) ・生命情報、社会情報、機械情報の違いが分かった。(1) ・一言「こい」といっても多種多様な意味があることが分かった。(1) ・おもしろい。(1)

2	<ul style="list-style-type: none"> ・「意味」の部分をもっと詳しく知りたい。(1) ・「主観」と「客観」についてさらに知りたい。(1) ・「意味があること」「意味がないこと」の区別をつける必要性について。(1)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「相互理解」「共感」という部分。(1) ・「生命情報」について。(1)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすかった。(1)

埼玉県立大宮武蔵野高等学校

「知覚と意味、そして情報」	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい矛盾や、普段まったく考えないことを深く考えさせられる授業でした。普段何気なく生活しているけど、不思議なことをあげるといろいろ出てきます。「不思議だな」と思ったことについて深く考えたりすることをこれからもしていきたいと思います。印象に残ったことは、私たちが物事を知ったりすることは主観的であるということです。主観的という言葉は初めて聞いたし、今まで全く考えたりもしなかったからです。(3) ・私たちが客観世界だと思っているものは、主観的に認識された擬似客観世界でしかないということ。そして情報によっても意味内容の伝達は不可能であり、決してお互いを理解することはできないということが印象に残った。自分が見ている世界は、主観的に構成されているということに驚いた。このようなことから本当の世界を見てみたいと思った。(3) ・擬似的な相互理解や擬似的な共感など絆や愛情も擬似的だということが印象に残りました。(5) ・情報の授業の時の考え方や理科的な考え方で一つの問題に対する答えは全く別の答えになるということ。客観的世界は、確認することすらできないということ。(1)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分には人と共感しあったことがあるのですが、共感することが擬似的な共感ということは本当は共感できてないということなのでしょうか。(1) ・人類は互いに理解し合っていません。なのに、授業の理解度を聞かれてもどのように答えて良いのか分かりません。(4) ・情報により意味内容が完全に伝わることはないという事を授業で知ったので完全ではなくても、なるべく正しく内容を伝えられる方法を知りたいです。(3) ・擬似的な相互理解や擬似的な共感はずっと聞くと嫌な風に聞こえるけど先生は嫌なことではなく普通のことと言ったことが未だによくわからない(笑)。信じてることも愛していたりすることも擬似的でいいのかな??という疑問(笑)。(5)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・今はお互いを理解することが出来ないが、擬似的に理解することはできる。擬似的理解をするためには、何が必要でどのようなことをするべきなのか学習していきたいと思う。(3) ・教科書には書いてない人とのつながりの複雑な関係などを学習したいです。(4)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・マリオットの盲点、錯覚が不思議で面白かった。先生の授業は、例題がとてもリアルで分かりやすい最後には「ああ！」と納得できるので面白いし楽しいです！納得できるとなんでこんな悩んでたのかとても不思議です。納得できた時は とてもスッキリするし面白いなって思える。(1) ・授業を聞いていて、人間関係の不思議さなどを考えさせられました。でも友達も恋愛も人と付き合っていくうちの大切さなどを新しく学べたような気がしました。(2) ・情報の時間でたくさんに疑問がうまれました。また、あたりまえに考えてることはあたりまえではないこともありました。なので、生活の中で疑問をつくり自分で解決したいと思いました。(3)

「3つの情報概念・人の意識」	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分はずっと意識して行動していると思っていたけど、「無意識」で行動していることが多いことがわかったので驚いた。後、自分が持っている情報を相手に伝えたり、相手を持っている情報を自分に伝えられることで「情報」の種類が変わることが印象に残った。(4) ・同じ感覚を共感することは重要だと感じました。同じだと思っている事が、実は違う事かもしれないということが印象に残りました。(2) ・機械情報は、受け手によっては意味が理解できないが、意味内容を構築できなくても、コピーして伝達が可能だということ。(2) ・痛みを共感することは当然で簡単だと思ってたけど、それは単純なことじゃなくて難しいことなんだなと思った。(2)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情報から機械情報にかわるときの条件があまり理解できなかった。(2) ・どうしていきなり社会情報から機械情報になるんですか？あまりその違いについて理解できませんでした。(2) ・それによって生物がパターンを作り出すパターンという意味がよく分からなかった。(2) ・すべての生き物は意識を持ってると思ってたけど意識を持ってない生き物もいること。(2)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・医者のことだけでなく、社会情報が機械情報になる瞬間はとても気になります。ほかにもたくさんあると思うので探していきたいと思います。でも、先にこのことについて理解したいと思います。(2) ・生命情報と意識が無関係ということが分かったのでその2つの関係を復習したいです。(1) ・プリントにあった、記号学、というものを具体的に調べてみたいです。(3)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の授業は、面白いです。世間話なども時々いれてもらい聞いていて飽きないし、そーなんだと理解することもあります。楽しく、かつためになる授業をありがとうございます。これからもお願いします。(1) ・楽しく分かりやすくおしえてもらっているので一回一回の授業がためになり理解できます。いつもありがとうございます。(2) ・前の授業から今回の授業にかけて人間がすごく不思議に見える。(2) ・授業、楽しいです。けど、先生喋るの早いです。もう少し、ゆっくりしゃべってほしいです。(4) ・頭をひねってやる課題は、とても難しいけど毎回自分なりに考えることが出来ているので楽しいです。これからもっと正解に近い答えを出せるように頑張りたいと思います！(3)